技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	H18　1-14
答案使用枚数	1 枚目　　枚中

技術部門	部門
選択科目	科目
専門とする事項	

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1．工事の総合評価方式とは

工事における総合評価方式とは、工事入札での落札者決定において、ただ安価なだけでなく発注者から示された課題に対する技術提案を求め、入札価格と技術提案内容を総合的に評価し落札者を決定する方式である。総合評価方式の導入により、民間の優れた技術が活用され、工事目的物の性能・機能の向上およびライフサイクルコストの縮減が期待できる。総合評価方式には①高度技術提案型②標準型③簡易型の3方式があり、技術評価値算出方法には①除算型②加算型の2方式がある。簡易型総合評価方式と、VFMの考え方をとる除算型による評価値算出が広く使われている。

2．総合評価方式の導入に至った背景

1）一般競争入札への移行と不適格業者の参入

かつては工事入札においては指名競争入札がほとんどであったが、建設工事に係る談合事件の多発と世論の非難、ガットウルグアイラウンド交渉での改定交渉進展により、一般競争入札への移行が一気に進んだ。一方、国や自治体の財政悪化と景気後退により公共投資額が減少し、受注競争の激化と低入札の頻発、安いだけで施工能力のない不適格業者の参入が相次いだ。

2）粗雑粗漏工事の多発による品質低下

低入札の頻発や施工能力のない業者の参入により、粗雑粗漏工事が多発し、工事目的物の品質低下が問題となった。

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字

技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	H18　1-14
答案使用枚数	2 枚目　　枚中

技術部門　　部門
選択科目　　科目
専門とする事項

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

３）建設工事就労環境の劣悪化

受注競争の激化により、下請業者へのしわ寄せや労務者賃金の低下、福利厚生費の削減や長時間労働が発生し、下請業者の疲弊と倒産、労務者の建設産業からの離職が増加した。また安全管理が不十分となり、重大事故や労働災害が多発した。

これらの問題発生により、国民の安全安心の基盤となるべき社会資本の品質が確保できないおそれが生じた。工事品質を確保するために「公共工事品確法」が制定され、優れた技術を持つ者を優遇し、工事目的物の品質確保と性能向上を行うためのシステムとして、総合評価方式が導入された。

３．総合評価方式の導入にあたり留意する点

総合評価方式が有効なシステムとして機能するためには、次の３点について留意する必要がある。

１）適切な技術課題の提示

建設工事の行われる現場には多様性があり、同一条件での施工が可能な現場はないと言える。現場条件に即した適切な課題の提示を行わないと、正確な技術評価は困難である。また、評価対象とならない技術テーマを明らかにすることで、着目点が明確となり適正な技術提案が可能となると共に、オーバースペック提案の防止にもつながる。

２）受注者、発注者の負担軽減

技術提案は工事の受注後その遂行が担保されなけれ

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字

技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	H18　1-14
答案使用枚数	3 枚目　　枚中

技術部門　　部門
選択科目　　科目
専門とする事項

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

ばならない。受注目的のためにオーバースペック提案が行われ、採用された場合には受注者に大きな負担となる。また、受注者・発注者ともに技術提案作業や後術審査作業に多大な費用と時間を要するため、これに対する負担軽減も必要である。

①技術評価項目ごとに上限値を設定する。②技術提案による効果が明らかであり、かつ提案の実行が受注者の過度な負担となる場合は標準案として採用し、費用計上を行う。③より簡易な「特別簡易型総合評価方式」の導入。④専門知識を持たない発注者への学識経験者派遣など、技術支援の実施。

３）評価における透明性の確保

技術評価において恣意的な要因が入り込む余地をなくし、透明性・公平性を確保することが重要である。

①技術評価結果や提案内容に対する第三者技術審査機関の活用。②技術提案評価項目ごとの加算点・得点の公表。③技術提案に対する採否通知の実施。

社会資本の品質性能の向上とライフサイクルコストの縮減が図られ、かつ技術的に優れた者が優遇されるシステムである総合評価方式の導入推進により、発注者・受注者双方の技術力向上を図り、より費用対効果の高い社会資本整備に努めていかなければならないと考える。

以上

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字